

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年4月13日 NO.4 (204)

花ちゃん 「この前は、フキについていろいろとお勉強できたわ。オー君、どうもありがとう。それにしても、オー君は、食べることについては、よく知っているわね。感心しちゃった。」

オー君 「食べるのは、おいらにまかせて。フキのほかに、春の山菜と言えば、タラの芽、ツクシ、セリ、ヨモギ、ノビル、ギボウシ、コシアブラなどなど、いっぱいあるんだよね。どれもみんなとってもおいしくね。うまくてね、まいうー！の連発さ。」

モンタ博士 「それからね、今の季節は、

コゴミもとてもおいしいよ。」

花ちゃん 「コゴミ？あんまり聞いたことないわ。」

オー君 「そうだな。ぼくもあんまり聞いたことがないな。」

モンタ博士 「そうかな。もうそろそろのびはじめているだろう。この前、国立市大学通りのKというスーパーでね、7本くらい入って、500円くらいで売っていたよ。

ずいぶんと高いので、モンタ博士はおどろいちゃったね。

まあ、それだけ、あちこち

の人がよく食べて、人気があるということ

なんだね。」

コゴミ

(正しくはクサソテツ)



花ちゃん 「モンタ^{はかせ}博士、そのコゴミ^{くにたちし}というのは、国立市にもあるんですか。」

モンタ博士 「何年^{なんねん}か前の国立市の植物^{くにたちし}調査^{しょくぶつちようさ}にもあったから、今^{いま}でもあると思うよ。正しい^{ただ}名前は、クサソテツ^{なまえ}とってね、シダ^{しょくぶつ}植物^{なかも}の仲間だね。」

オー君 「先^{さき}がまるまっていて、おもしろい形^{かたち}ですね。」

モンタ博士 「なるほど。よく観察^{かんさつ}しているね。一度^{いちど}見たらすぐに覚えてしまう形^{かたち}だね。」

花ちゃん 「モンタ^{はかせ}博士に質問^{しつもん}です。どうすれば、山菜^{さんさい}とりが上手^{じょうず}になるんですか。」

モンタ博士 「そんなの簡単^{かんたん}さ。何がどこに、いつごろ出るかを覚えておくことだね。」

花ちゃん 「なーるほど。そういうことですね。これから花^{はな}ちゃんは、山菜^{さんさい}博士^{はかせ}になりまーす。ところで、このコゴミ^{こごみ}というのは、どうやって食^たべるんですか。」

モンタ博士 「さあ、それでは、『シェフモンタ』の登場^{とうじよう}だ。まず、お湯^ゆをわかして、コゴミ^{こごみ}をゆでる。この時^{とき}お塩^{しお}を少し^{すこ}

入れると、緑^{みどりいろ}色があざやかに

なるんだ。次に、お湯^ゆをきっ

てから、冷^{つめ}たい水^{みず}につけるこ

とがポイントだね。」

花ちゃん 「それから・・・。」

モンタ博士 「おかかとおしょうゆで、

はいできあがり。おっと、

わす^{わす}忘れてはいけないのが、

パラパラとビタミン^{アイ}（愛^{あい}）

だ。しょうゆマヨもけっこ

ううまいんだよ。さらに、

ゴマあえや、からしみそ

あえ、みそしる、しょうゆ

あぶら^{あぶら}油^{あぶら}いためなど、いろいろと

ちょうり^{ちょうり}ほう^{ほう}調理^{ちようり}法^{ほう}があるから、チャレンジしてごらん。」

オー君 「さあ、コゴミ^{りようり}お料理^{りようり}にチャレンジしようぜ。」

